

令和6年度地域課題解決共創事業「One+」 特定テーマ申請書

希望テーマ名	在来生物への影響を考慮した生物観察しやすい水辺の整備方法を考える
テーマ要旨 (課題の概要)	<p>外山森林公園は、昭和40年に市が用地を取得後、15回にわたる市民植樹祭により市民の手づくりの森林公園として整備がすすめられた。管理棟、キャンプ場、炭焼窯などの主要施設の整備をすすめ、現在では森林レクリエーション、林業体験学習の場として多くの人々に親しまれている。</p> <p>昨年度に当公園の大きな目玉であった園内食堂「外山そば」が閉鎖したことで、今年度以降、来場者数の大幅な減少が見込まれており、公園の活性化に向け、外山そばに代わる新たな魅力創出が課題となっている。</p> <p>今年度の事業の1つとして、当公園の中央にある「すずらん池」周辺を公園のシンボルになるようにビオトープ整備を予定している。本整備をすすめるにあたり、当公園に生息している希少な在来生物を大事にしながら、生息環境に影響を与えることなく、希少生物の観察がしやすい環境を整える方法を考えることが必要であり、それには専門的知見を要する。</p> <p>専門的知見を有する学生と協力し、整備をすすめることで、市民が当園内で生物の生息環境を観察できるようになり、森林公園の目的の一つとなっている自然環境啓発に寄与する結果となる。</p>
期待する効果	大学で水辺生物の生息状況等を専門的に研究している学生に、観察環境や生息環境に配慮した整備手法について考えていただくことで、森林公園を環境学習のフィールドとして活用できる可能性が広がり、これまでの利用者とは違う、新たな利用拡大につながる効果を期待する。
担当所属	林政課森林管理係
担当者氏名	藤井佐知子
連絡先電話番号	019-613-8451
E-mail	rinsei@city.morioka.iwate.jp
協力内容	採択となった場合に、学生団体等に対して協力可能な内容がございましたらご記載ください。
その他	質問事項や相談等について自由にご記載ください。